



文化人たちが愛した、江戸の面影残すまち

半蔵門駅

東京メトロ
半蔵門線

江戸時代に旗本の武家屋敷街として開けた半蔵門。

明治から昭和にかけては、滝廉太郎や与謝野晶子といった名のある文化人たちが多く暮らしていた町であり、どこか奥ゆかしさが漂います。彼らの足跡を辿りながら、ふらり散歩を楽しんでみては。



ゆるい下り坂が続く半蔵門エリアは、皇居ランのスタート地点としてもオススメです！



1 平河天満宮

「江戸三大天神」として名高い霊験あらたかな学問の神さま

江戸平河城主・太田道灌が、ある日菅原道真公の霊夢を見たことをきっかけに建立したという平河天満宮。湯島天満宮、亀戸天神社とともに江戸三大天神に数えられ、国学者・塙保己一や蘭学者・高野長英も足繁く通ったという由緒ある神社です。境内には立派な銅鳥居(天保15年造)をはじめ千代田区の指定文化財も多く、ひとたび足を踏み入れれば江戸の昔にタイムスリップできそう。



千代田区平河町1-7-5
03-3264-3365



どっしりと構える常夜燈や
狛犬(嘉永5年造)など
見どころがたくさん！

誌面で紹介したお店やスポットに
ターリーターキーの2人がおじゃまします！ テレビも見てね！

あらぶんちよ散歩 [半蔵門駅]

8月3日(月)~9日(日)

地デジ11ch 11:00~、14:00~、17:00~

YouTube

「あらぶんちよ! チャンネル」
でも公開中!



*データは取材時のものです。内容が変更になる場合がありますので、あらかじめご了承ください。
*掲載店舗は通常マスク着用で営業していますが、撮影のため特別に外していただいています。



千鳥ヶ淵

靖国通りから北の丸公園に沿った江戸城の濠。江戸開府当時は、水を確保するためのダムとして機能していました。

写真提供 千代田区広報広聴課



滝廉太郎居住地跡

明治27年頃から34年4月まで居住。「荒城の月」など多くの作品がここで生まれたという。東京都指定旧跡。



半蔵門ミュージアム

運慶作と推定される大日如来坐像(重要文化財)など、貴重な仏教美術品を展示。入館無料。



半蔵門こどもの池

小学校入学前のお子様と保護者の方が対象。深さ30cmほどの池で水遊びを楽しめる。水は毎日入替え。※今年度は開放中止。
写真提供 千代田区広報広聴課



半蔵門ランナーズサテライト JOGLIS

皇居ランナーのコミュニティステーション。ロッカー・シャワー完備で、レンタルシューズやウェアも充実!(会員制)



[左]シュガーブレツェル、[中央上]甘夏みかんデニッシュ、[中央下]ジャーマンベーコン各100円~320円(税込)。[右]パン・ド・ブルミエ 1斤580円(税込)。

2 ブーランジェリー シェカザマ

各界のVIPたちも賞賛する、パン作りのマエストロ

千代田区一番町10
03-3263-2426
8:30~20:30 日
http://www.chez-kazama.jp/



パン一筋60年の職人技が光る名店。自慢は全粒粉で培養させた天然酵母で作る「パン・ド・ブルミエ」(火・金・土曜日限定)。中はモチッ、外はパリッとした食感が人気。飾りパンにも定評があり、店内にはパンで作られたオブジェも!

←オーナーシェフ 風間 豊次さん



国産食材を使った本格パスタやスープなどを日替わりでいただけるサービスランチ・Pranzo Amore 1,600円(税込)は特にオススメ!

4 エリオ ロカンダ イタリアーナ

古き良きイタリアを感じる懐かしの「ママの味」

千代田区麹町2-5-2 半蔵門ハウス1F
03-3239-6771
11:45~L.O.14:15、17:45~L.O.22:15
日
http://www.elio.co.jp/restaurant/



「祖母が営んでいたロカンダ(郷土料理を出す宿)の味を広めたい」。オーナーシェフのそんな想いから始まった、イタリア南部の伝統料理が自慢のお店。オーガニック食材を使った料理はどれも素材本来の美味しさを味わえます。

←ホールスタッフ ルチアーノさん



[右上]広東高菜と豚バラ醤油煮 1,480円(税抜)。
[左上]シーフード河粉湯麺、[下]香港風河粉と牛肉炒め 各1,180円(税抜)。

3 香港飲茶 唐朝

本場の料理人が腕をふるう香港ローカルフード

千代田区麹町2-12-13
03-6261-3631
11:00~15:00、17:00~23:00
1月1日、12月31日



黄金に輝く昇り龍の門が目印。都内の有名ホテルで長年活躍した、香港出身料理人による本格中華が自慢のお店です。ランチには850円(税抜)の日替わり定食もあり。ディナーはご家族、友人と約50種類の飲茶も楽しんでみて。

←オーナー 浜崎 洋子さん



ヴィンテージファブリックポーチ 大・各2,000円、小・各1,600円(税抜)。
[右下]フィンランドで買い付けた小さな絵本 300円(税抜)など、小物がいっぱい!

5 北欧雑貨 LIFE AND BOOKS

ステキ、カワイイ北欧雑貨で日常をもっとハッピーに

千代田区一番町9-5 千代田ホーム101
03-6434-0840
lifeandbooks@bz04.plala.or.jp
12:00~19:00 土・日・祝日
※来店時は、お電話かメールにてご予約を。



主にフィンランドで買い付けた雑貨類を扱うお店。デザイン会社を営むオーナーがセレクトしたヴィンテージ食器や小物、本、ファブリックなどが所狭しと並ぶ。見るも鮮やかなアイテムは、おうち時間をより楽しくしてくれそう。

←スタッフ 茶谷 嘉美さん

注目の人 日本カメラ博物館 学芸員 井口 芳夫さん



新しい発見がある、「知的×娯楽」空間

ここは日本のカメラ発展史を系統的に展示する、国内最初の公的な博物館です。世界で最初に市販されたカメラから最新のデジタル式、世界中で活躍してきた名機・珍品なども幅広く集めてきました。常設展は定期的に模様替えをし、様々な視点からカメラの魅力を掘り起こせるよう工夫しています。たとえば、ジュース缶などにカムフラージュされたディテクティブタイプ(探偵カメラ)やおもちゃのカメラ、内部の構造が見えるカットモデルなどは見応えがありますよ。また、写真作品からカメラの世界に溶け込めるよう著名な写真家さんの特別展も開催しています。

初心者からマニアの方まで、幅広い方々が満足できる仕掛けをしていく。それが展示をする側としての大きな楽しみですね。訪れるたびに新しい発見がある、そんな「知的エンターテインメント施設」にしていけたら。皆さまのご来館をお待ちしています。



明治中期のスタジオカメラ。今では、ドラマ撮影の道具として使われることも。



日本カメラ博物館

千代田区一番町25
JCII一番町ビル B1F
https://www.jcii-cameramuseum.jp/
03-3263-7110
10:00~17:00
月曜日休館
☎一般300円、中学生以下無料

「竹内敏信 コレクション展」開催中!
10月4日(日)まで